

No. 28

たかの博幸



発行/高野博幸

発行日/2009年8月4日

連絡先/大分市田尻南2丁目3-17

TEL 586-1156 FAX 586-1186

市政れぽーと

残暑お見舞い申し上げます。

今回の質問は市民の要望からです。

市民の声や思いを市政の場に反映させるのは、私たち議員の責務です。

今後とも皆様の声をよく聞き、ともに

考え、ともに行動しながら、住みよ

い大分市をつくってまいります。

平成21年 第2回 大分市議会定例会 2009.6.8~6.22

たかの
質問

地球温暖化対策・交通渋滞対策として、公共交通の活用、ノーマイカーデー、エコ通勤等の取り組みが、新たな橋の設置や道路整備をするよりは、予算もかからなくて即効性のある施策だと思いますが、本市の取り組み状況は

環境部長
答弁

「地球温暖化対策おおいた市民会議」の中で今後、関係部局と連携を図りながら、指針に掲げています「公共交通機関の整備拡充」などのハード面の整備をはじめ、「自動車に頼らないライフスタイルの提案」、「エコドライブやアイドリングストップなどの環境にやさしい自動車の利用」などの取り組みを推進する中で、具体化できるように努める。

都市計画
部長
答弁

幹線道路のネットワーク整備と併行して、バスや鉄道など、公共交通や手軽な自転車利用への転換を中心とした取り組みを積極的に展開し、自動車交通の総量を抑制し、環境への負荷の少ない交通社会の実現をめざしたい。



たかの
質問

歩道を歩くときに街路樹が通行の阻害になる。安心・安全な歩行空間のネットワーク整備についての考えを聞きたい。

土木建築
部長
答弁

街路樹が通行の阻害要因となっている歩道については、樹木の撤去等による整備が求められる一方で、緑を残せないかとの意見もあり、今後、街路樹の保存や撤去は、地域で意識集約を図っていただくとともに、「街路樹のきれいなまちづくり協議会」の方針や、「生垣設置事業」による補助制度を活用するなど、地域と一体となった取り組みも必要であると考えている。今後とも安心・安全で円滑な歩行空間のネットワーク形成に向け、計画的な整備を推進したいと考えている。

◆小中一貫教育について

(品川区立小中一貫校 日野学園)

「日野学園」は、全国初の施設一体型小中一貫校として開校した。

小中一貫校増加の大きな要因として少子化による児童生徒の減少が挙げられる。

かつては区域外の学校に流出していた児童生徒も、地元への定着度が高まっている。

一方で、小中一貫校では、6年生の小学校最上級生としての自覚の低下や7年生への進学時の緊張感の薄れが指摘される場所であるという。



日野学園 (6/2)

◆新しい発想の校舎について

(釧路市立東雲小学校)

先生が子どもたちとコミュニケーションをとりやすくするために、職員室を廃止し、子どもに目が届く「ティーチャーズ・ステーション」に教師が常駐する。

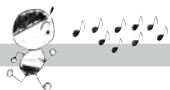
教室と廊下の仕切りがないため、「オープンスペース」と呼ばれており、掲示や展示ができる移動式ロッカー、座卓、座マットなどが配置されている。隣の教室との間に仕切りがないので、隣の教室で学習している児童の声や先生の声が聞こえ、自分の授業に集中できない生徒が出てくるのではないかと懸念される。

木のぬくもりいっぱい新しい体育館や教室で、カラマツをはじめ、釧路管内で生産された木材を建材として使用しており、地産地消を行っている。



東雲小学校 (6/3)

たかのっ走る



6月

- 2~4 文教常任委員会視察
- 5 大分市人権・同和教育推進連絡協議会
- 6 高教組中央支部大会
- 8~22 大分市議会 第2回定例会
- 10 あなたの町の郵便局月例会(ボウリング)
- 12 高教組大分支部大会
- 15 東植田地区PTA協議会会長会
- 19 大分市PTA連合会単P会長会

26 高教組大会

7月

- 4 東植田地区PTA協議会指導者研修会
- 9 議会活性化推進会議
- 10 大分市歴史資料館 第28回特別展開催式典
- 14 社会民主クラブ勉強会(認定子ども園について)
- 22 ふるさとづくり運動推進協議会総会
- 27 大分市人権・同和教育推進連絡協議会企業部会

絆

きずな

発行元・大分市議会社会民主クラブ

6月議会

国 の 経 済 危 機 対 策 を 受 け て

補正予算・・総額30億5100万円

今議会では、先の国会で決められた経済危機対策（国で14兆7000億円）のための補正予算が、市にも交付されるため補正が提案され承認しました。

この予算を遣って行う主な事業は次のようです。

◎子育て応援特別給付・・・・5億2400万円

3歳～5歳までの児童1人に3万6千円の手当。

◎道路舗装・新設改良事業・・1億円

市内一円6路線の舗装、15路線の改良事業。

◎市税コンビニ収納システム・・7900万円

市県民税、固定資産税等をコンビニで納付できるようにする。

◎女性特有ガン検診推進・・・1億2500万円

特定の年齢の女性に子宮頸ガン、乳ガンの検診手帳を送付。

◎小中学校内LAN整備・・・4億5400万円

校内の教室を結び、教材の共有化を可能にする。

◎小中学校校務パソコン導入・4億3200万円

小中学校教職員1人に1台パソコンを配備。

◎小学校耐震化（寒田小・城南小）・1億3350万円

寒田小、城南小の校舎の耐震化の工事。

◎地区公民館等補修事業・・・2670万円

老朽化した地区公民館の改修をする。

◎大分川右岸照明灯設置・・・1000万円

滝尾橋～舞鶴橋に照明灯を設置する。

◎宇曾山荘施設整備・・・・2550万円

宇曾山荘のテラス、ベランダ、玄関、内部の改修。

◎新型インフルエンザ対策・・3750万円

災害用医療エアーテントや相談センターの電話増設。

会派では・・ 今回のこの補正予算は、今年度限りのものがあったり、もっと生活に密着したものに遣うべきだという問題があります。ただ、国からの経済危機対策の予算であり、必要な事業もあることから、承認しました。



大分川ダム建設進捗状況調査



由布市議会視察

議会が変わりました！！

一般質問において

一問一答方式の導入（分割方式も可）

一般質問において一問一答方式が、6月議会から導入されました。議員提出議案で議会会議規則を一部改正し、質問回数の制限を無くしました。そして、一問一答か分割方式、そしてこれまで通り一括方式のどれかを選択して質問することになりました。

議場も、そのために、議員席の中に2回目からの質問席を設置しました。

今議会での我が会派では、篠田議員が一問一答、安東議員、高野議員、宮邊議員が分割方式での質問でした。

傍聴者からは、「これまでより、流れが分かりやすい」と好評でした。



1回目の質問
(議長前の演台から)



2回目以降の質問
(議員席の最前列から)
※2回目以降は議員席側に場所を移動して、質問します。

一般議案

◎長期優良住宅等の認定（手数料）の新設

この度施行される「長期優良住宅の普及の促進法」に基づいて、長期優良住宅に認定するための手数料を新設します。

長期優良住宅とは、少なくとも100年の使用に耐える構造で耐震性やバリアフリー、省エネ、居住環境の配慮などにも優れた住宅（個人用・共同用とも）を基準により認定する制度です。長期優良住宅に認定されたら、住宅ローン減税、不動産取得税、固定資産税などで優遇措置があります。

◎国保の出産育児一時金の特例・・・35万円を39万円に（さらに3万円加算）

国保加入者で、平成21年10月1日～平成23年3月31日までに出産した場合の出産育児一時金を、4万円上げます。ただし医療補償制度加入の医療機関（市内は全機関加入）での出産は、さらに3万円加算します。

◎岡臨海線（都市計画道路）の用地一部買い上げ

都市計画道路の岡臨海線の用地の一部（5500㎡）を7190万円で買い上げます。



その他

◎野津原に、「認定子ども園」（報告事項）

野津原保育所と野津原地域の幼稚園を一緒にして、認定子ども園の設置が提案されました。保育所の老朽化が理由ですが、唐突に出された件に厚生・文教の委員会では意見が多く出されました。保育所建て替えは必要ですが、幼稚園の廃園もあるのに、幼児教育の市の方針が決まってない段階での提案に問題点を指摘しました。

意見書 我が会派の提出した次の意見書が採択されました。

◎義務教育費国庫負担制度堅持を求める意見書